

稲作だより

第 10 号

令和 5 年 7 月 27 日発行
山形おいしさ極める！
米づくり日本一プロジェクト
西村山農業技術普及課
TEL：0237-86-8287

**早生品種では出穂が始まっています。今後は気温が高い予報！
適切な水管理で品質低下を防止！**

【出穂期前後の水管理】

- ☑ 出穂期前後は、イネが最も水分を必要とする時期です。水尻や畦畔を再度確認し、しっかりと湛水状態を保ちましょう。
- ☑ 出穂後の登熟期は、間断かん水をして、根の活力を維持しましょう。極端な低温時や、フェーン現象等により高温が続く場合は、湛水してイネを保護しましょう。
- ☑ 節水管理を心掛け、かけ流しによる水管理は絶対に行わないようにしましょう。
- ☑ しっかりと登熟させるため、早期落水はせず、出穂から30日間は水を切らさないようにしましょう。

【斑点米カメムシ類対策】……今年もカメムシの発生量が多い！

- ☑ 斑点米カメムシ類防除の基本は「穂揃期」+「穂揃期の7~10日後」の2回です。適期防除を実施しましょう。
- ☑ 発生状況によっては、穂揃期の7~10日後から、更に7~10日後の補完防除を行いましょう。
- ☑ 8月中の草刈は行わず、今後は防除を徹底して行い、カメムシの被害を抑えましょう。
- ☑ 地域ぐるみの一斉防除で、カメムシの被害防止を図りましょう！！

【いもち病対策】……穂いもち注意報発令中！

- ☑ 管内各地で、葉いもちの発生が確認されています。葉いもちが発生した圃場では、治療効果のある薬剤で防除を行いましょう（特別栽培の場合、使用できる薬剤が生産計画で決まっているため、確認が必要です）。
- ☑ 穂いもちの基本防除は「穂孕後期」と「穂揃期」の2回です。葉いもちの発生が多いほ場では、「穂揃期の7日後」にも防除を実施しましょう。

STOP 農作業事故!!
熱中症に要注意!!

LINE を活用した情報提供を
行っています。ぜひご活用ください！

